

フラッシュバックに効果か

脳卒中の既存薬

千葉大が臨床研究へ

つらい記憶が繰り返し突
然よみがえる心的外傷後ス
トレス障害（PTSD）の
症状の一つ「フラッシュバ
ック」を減らすのに脳卒中
の後遺症を改善する既存薬
が役立つ可能性が高いとし
て、千葉大の研究チームが
効果を確かめる臨床研究を
8月にも始めることが、6
日分かった。同大の審査委
員会が6月中旬、臨床研究
に大筋で合意した。

東日本大震災のような災
害や、虐待、事故が原因で
発症するPTSDでは、投
薬で抑うつ症状などは改善
する場合が多いものの、フ
ラッシュバックには十分な
効果がない。チームの橋本
謙二教授（神経科学）は「薬
の効果を証明した上で、世

界初の正式なフラッシュバ
ック治療薬として普及させ
られるよう製薬企業に働き
掛けたい」と話す。
薬は脳出血や脳梗塞後の
めまいを防ぐセロクラール
（一般名イフェンプロジル
酒石酸塩）。国内では30年
以上前から飲み薬として使
われており、重大な副作用
は報告されていない。

セロクラール投与による フラッシュバック 頻度の変化

女性患者 の年代	虐待・暴力 を受けて いた時期	投与 2~4週間後
30代前半	幼少時から 青年期に かけて	20%以下 に減少
10代後半	青年期	20%以下
20代後半	青年期	約33%
10代後半	青年期	40%以下
10代後半	幼少時	50%以下
40代後半	幼少時と 結婚後	約50%

（千葉大などが試験投与した6人のデータ）

この薬の脳の興奮を抑え
る作用がフラッシュバック
を改善する可能性があるとし
て、米子医療生活協同組
合「米子診療所」（鳥取）
や千葉大がここ数年、性的
虐待や暴力を受けるなどし
てPTSDを発症した女性
患者6人へ試験投与。40代
女性は1日に2、3回だっ
た発生頻度が8週間後まで
に週1~4回に減るなど、

6人とも症状が大幅に改善
したという。

新しく実施する臨床研究
では、PTSDと診断され
た13~18歳の男女計40人を
2グループに分けて一方に
セロクラール、もう一方に
偽薬を投与する。グルー
間のフラッシュバックの頻
度や不安症状などの改善度
を比較し、薬の効果を厳密
に確かめる。早ければ8月
にも研究を開始し、3年以
内に結果をまとめる。
フラッシュバックの治療

首相「実体経済は改善」

海江田氏「暮らしを破壊も」

大阪で舌戦

参院選公示後、最初の週
末となった6日午後、安倍
晋三首相と民主党の海江田
万里代表は大阪市内で相次
いで街頭演説し、経済政策
「アベノミクス」をめぐる
舌戦を繰り広げた。首相が
実体経済の改善を強調した
のに対し、海江田氏は「暮
らしを破壊する可能性が大
きい」と指摘した。ほかの
各党党首も街頭などで支持

薬をめぐるのは、一部の薬
で睡眠中に悪夢を見る回数
が減らす効果があるとの海
ものはない。



たなければ私たちは自
ら」として、陣営引き締
にも躍起となった。
海江田氏は大阪・難
波、アベノミクスに関
「（一過性の）打ち上げ
火。失敗したら真っ暗闇
と批判した。公明党の山
那津男代表は仙台市で、
が日中友好に取り組んで
たことに触れ「公明党の
ち味も大切だ」と自公連
の意義を訴えた。
みんなの党の渡辺喜幸
表は北海道旭川市で記者
見し「自民党が勝利すれ